

うじたわら

議会だより

No. 102

2020.2.1



委員会で継続審査へ	町が撤回請求	2p~3p
町政ズバリ間く(一般質問)		5p~14p
インタビュー(田中涼太さん)		15p

＝晴れの成人式＝
華やかな晴れ着を身にまとい
成人の決意を 一筆に込めて

11月臨時会
12月定例会

定例会・臨時会

令和元年第1回臨時会は、11月7日に開催し、人事案件1件(教育委員の任命)があり、全会一致で同意した。また、第4回定例会は、12月4日から18日まで開催し、予算関係5件(補正予算)、条例関係9件、一般議案2件が提出された。その内条例1件は、撤回され、他は原案通り可決した。また一般質問には9人の議員が立った。

総務建設常任委員会

会計年度任用職員
給与及び費用弁償に
関する条例の制定
(議案第48号)

地方公務員法、地方自治法の一部改正により、令和2年4月1日に創設される会計年度任用職員の給与や休暇について定めるもの。

臨時職員の
処遇改善は

○ 会計年度任用職員として4月から任用される見込み人数、退職手当の支給の有無は。
○ 恒常的に働いている臨時職員は65名程度。退職手当については退職手当組合の条例に基づいて支給する。

○ 会計年度任用職員に

移行することで、処遇がどう改善されるのか。
○ 期末手当の支給や昇給など改善される。

職員の仕事時間、休暇等に関する条例の一部改正
(議案第53号)

職員の健康保持や超過勤務の削減に向けて、超過勤務の上限を定めるなどの規定を設けるもの。

他律的な業務とは

○ 超過勤務命令の上限について、「他律的な業務の非常に高い部署」とはどの部署か。
○ 他課が大きく関係する予算を担当する企画財務課などを想定。本町で

は1人の職員が多くの業務を担当しているため、明確にするのは難しい。
○ 超過勤務の上限時間が大きく変わるので線引きが必要では。
○ 勤務時間の状況把握、要因分析を行い、職員の健康保持等を確保していく中で対応したい。

費田立川線道路新設工事(その3)請負契約の締結
(議案第57号)

新庁舎北側の町道費田立川線工事の請負契約を締結するもの。

供用開始はいつか

○ 計画図面では町道通峰線まで達していないが、供用開始はいつか。
○ 今回は150m区間で土工を実施する。残り50m区間は来年度に工事着手、供用開始を予定している。

文教厚生常任委員会

宇治田原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
(議案第54号)

幼児教育・保育無償化に伴う「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」の改正により、同様に改正を行うもの。

給付費の高額負担は解消したか
○ 広域入所に対し、町が給付費を高額負担しているが、無償化や条例改正で解消されたのか。
○ 今回の無償化の対象は保護者の保育料部分であり、広域入所の施設型給付費の算定において、国、府、町の負担割合に変更はない。

内容や手続きをめぐる紛糾

議案第56号宇治田原町総合文化センター設置及び管理に関する条例等の一部改正は、高齢者の年齢を60歳以上から65歳以上に引き上げるとともに、使用料減免基準を拡充するもので、開会日に提案説明され文教厚生常任委員会に付託、議案審査した。委員会では、条例や関係する規則等の改正内容、手続きをめぐる紛糾し、継続審査とした。その後、町当局が、これまでの十分な説明の欠如と改正内容に係る検討不足についての指摘を真摯に受け止め、再度検討するとして、議案の撤回を請求したため、本会議において許可した。

人事案件

教育委員の任命同意



川崎 文男氏
(南)

任期 令和元年11月26日～令和5年11月25日

選挙管理委員、補充員の選挙

〈委員〉

- 大谷友一氏(南)
- 清水善宣氏(立川)
- 谷口昭弘氏(荒木)
- 安井正美氏(湯屋谷)

〈補充員〉

- 上辻治男氏(奥山田)
- 光島善正氏(費田)
- 茨木均氏(岩山)
- 奥村重子氏(禅定寺)

任期 令和元年12月22日～令和5年12月21日

予算特別委員会

一般会計補正予算
(議案第43号)

文セン駐車場
返還分の代替は

○ 文化センター駐車場の返還分について、返還する面積、減少する駐車台数は。
○ 概ね3分の1程度、面積は約700㎡、23台

分ほど減少する。
○ 23台分の代替はどう考えているのか。
○ 多目的広場や、1階部分の駐車スペースの線の引き直し等によって確保したい。

○ 山手線整備事業について、当初予算と債務負



工事が進む山手線

討論 一般会計補正予算

反対

住民生活にかかわる事業は町が責任を持つべき。ゴミの収集業務の一部が外部委託となる。全国の被災地では災害ゴミの処理問題が復興・復旧の妨げとなっている。ごみの収集など、直接住民生活にかかわる事業は民間に任せるとはならず、町が責任を持つべき。

今西久美子 議員

文教厚生常任委員会

宇治田原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
(議案第54号)

幼児教育・保育無償化に伴う「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準」の改正により、同様に改正を行うもの。

給付費の高額負担は解消したか
○ 広域入所に対し、町が給付費を高額負担しているが、無償化や条例改正で解消されたのか。
○ 今回の無償化の対象は保護者の保育料部分であり、広域入所の施設型給付費の算定において、国、府、町の負担割合に変更はない。

内容や手続きをめぐる紛糾

議案第56号宇治田原町総合文化センター設置及び管理に関する条例等の一部改正は、高齢者の年齢を60歳以上から65歳以上に引き上げるとともに、使用料減免基準を拡充するもので、開会日に提案説明され文教厚生常任委員会に付託、議案審査した。委員会では、条例や関係する規則等の改正内容、手続きをめぐる紛糾し、継続審査とした。その後、町当局が、これまでの十分な説明の欠如と改正内容に係る検討不足についての指摘を真摯に受け止め、再度検討するとして、議案の撤回を請求したため、本会議において許可した。

担行為補正予算で国庫補助率に差があるが。
○ 当初予算では制度上の交付率で予算計上した。国からの交付金配分率が下がっているため、債務負担行為では、これまでの実績で計上した。

特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正
(議案第51号)

町長等特別職の期末手当を0.05月引き上げるもの。

討論 特別職給与条例

反対 山本 精 議員

町財政も住民生活も厳しい中、引き上げに反対。労働者の実質賃金が上がりに続ける上に、消費税が10%に引き上げられ、町民の生活は厳しい。さらに町財政も厳しい中、特別職の期末手当を引き上げることには反対。

お手盛りでは

○ 期末手当の改正について、財政が厳しい中、住民目線と言えば、お手

意見書(第1号)

下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と

予算の確保を求める意見書
国において、下水道汚水施設の改築は原則使用料で賄うべきとの提言があった。施設の改築に係る国庫補助の削減・廃止は、使用料の大幅な値上げや、一般会計繰入金金の増額など、住民生活に重大な影響を及ぼす極めて深刻な状況である。国は、国庫補助を継続し、十分な予算を確保するよう、強く要望する。

宇治田原町議会

定例会・臨時会

一般質問

ズバリ! 町政を問う

12月9日~10日



一般質問

議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。

主な内容について、各議員の要約原稿を掲載しています。

質問者	質問事項
1 田中 修 (6p)	1. 交通インフラ整備について 2. 公共施設の跡地や施設の活用について
2 浅田晃弘 (7p)	1. 活気あふれる交流のまちについて 2. 健やかに安心して暮らせるまちについて
3 松本健治 (8p)	1. 自然災害の本町(地域)の危険性について 2. 高齢者に寄り添う地域社会の構築について 3. 高齢者に対するサポート事業について
4 山本 精 (9p)	1. 防災対策について 2. 自動車運転免許自主返納について

●印の質問事項は本紙には掲載していません

質問者	質問事項
5 谷口重和 (10p)	1. くつわ池自然公園について 2. 福祉施設の整備について 3. お試し住宅について ●公共施設のあり方について
6 今西久美子 (11p)	1. 防災対策について 2. 西ノ山展望広場の有効活用について 3. 町史について
7 垣内秋弘 (12p)	1. 令和2年度の予算編成 2. ふるさと住民票制度について 3. 高齢者健康遊具の設置を ●地方創生について
8 藤本英樹 (13p)	1. 防災対策について 2. 東京オリンピックについて
9 馬場 哉 (14p)	1. 第5次まちづくり総合計画について 2. 後期計画策定後の行政運営について

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場3階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ(<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp/>)をご覧ください。議会事務局(☎88-6641)までお問い合わせください。

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	山内	山本	今西	垣内	田中	原田	馬場	松本	谷口	浅田	藤本
12月議会	人事 議案第42号	宇治田原町教育委員会委員の任命について(川崎文男氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見書 意見書第1号	下水道施設の改築に係る国庫補助の継続と予算の確保を求める意見書(案)について			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算	議案第43号	一般会計補正予算(第3号)(人件費の追加、宇治田原山手線整備事業費の減額、東京2020オリンピック聖火リレー実施事業費の追加)【1億4602万1千円の減額】	✓		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第44号	国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)(人件費の減額、保険給付費の追加など)【1552万5千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第45号	介護保険特別会計補正予算(第2号)(人件費の追加)【103万3千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第46号	水道事業会計補正予算(第2号)(人件費の追加)【収益的支出 2万5千円の追加】【資本的支出 11万4千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第47号	下水道事業会計補正予算(第1号)(人件費の追加)【収益的支出 85万5千円の追加】【資本的支出 2万4千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第48号	宇治田原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例を制定するについて(法律の改正に伴う条例の制定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月定例会	議案第49号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例を制定するについて(法律の改正に伴う条例の制定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第50号	宇治田原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律改正に伴う給料表、期末勤勉手当の改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第51号	特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律改正に伴う期末手当の改正)	✓		可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第52号	宇治田原町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律改正に伴う期末手当の改正)			可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第53号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(超過勤務縮減等に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第54号	宇治田原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を制定するについて(運営基準の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第55号	宇治田原町立保育所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて(法律の改正に伴う条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案第57号	費田立川線道路新設工事(その3)請負契約の締結について【契約金額5914万円】			可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
その他	議案第58号	宇治田原町公用車庫・倉庫棟建設工事請負契約の締結について【契約金額5486万円】			可決	○	●	●	○	○	○	○	○	○		

◎谷口整議長は賛否同数以外は表決に加わりません

表決結果

交通インフラ整備は

【答】国・京都府に働きかけを進める



田中 修
議員

【質問】

町内の国道307号は朝夕の混雑が激しく、渋滞が慢性化している。山手線については、南栗所から新庁舎まで、及び緑苑坂以北は建設が進められているが、新庁舎から宇治田原小学校前までは

【答弁(町長)】

全線開通の時期については明言はできないが、第1期整備区間や新名神高速道路の供用に伴う交通の流れの変化や状況に

注視しながら、沿線の土地利用を促し京都府との情報交換を密にしている。引き続き全線開通に向け住民会議の皆様とともに取り組んでいく。

からも側面支援を願いたい。

【質問】

10年後の道路整備と公共交通機関の整備はどこまで進めていくのか。

【答弁(建設環境課長)】

計画的な道路整備を進め国や京都府、民間企業への働きかけ等、あらゆる知恵を絞り、新名神高速道路から生活道路に至るまで、それぞれの機能を十分発揮できる交通体系のもと、安全で災害に強い道路となるよう進めていきたい。公共交通機関の整備は町営バス・コミュニティバスを堅持していく。

【答弁(建設環境課長)】

立場線は、通勤通学に多くの方が利用されており、宇治市と本町を結ぶ重要な路線である。本路線の整備は近隣市町との連携が必要であり、議員



整備が進む山手線(緑苑坂以北)

公共施設の跡地や施設の活用は

【答】役場跡地は売却の方向

【質問】

庁舎の移転に伴い、現庁舎の活用は。

【答弁(町長)】

現庁舎の跡地については、隣接する町道の交差点整備を行い売却の方向で進める。

小学校が統合され維孝館中学校周辺に新築することで両小学校が閉校となる。この施設の活用は。

【答弁(町長)】

小学校の跡地については、引き続き庁内で議論を深め、小中一貫教育に係る新施設の具現化に合わせ方向性を示したい。

【質問】

小中一貫教育の推進に伴い田原・宇治田原の両



売却予定の現庁舎

宗円生家の管理運営に活動費を

【答】指定管理業務の中で検討する



浅田 晃弘
議員

【質問】

唯一無二な宗円生家の管理は「1738やんたんづくり会」の前身である「やんたん里づくり会」が長年、無償で行ってこられた。現在も生家の管理や清

掃等を献身的に行われているが、「宗円交遊庵やんたん」の指定管理契約の中に生家の管理費が含まれていない。管理費を含めることで、さらに充実した取り組みが行われると思うが。

【答弁(建設事業部長)】

宗円生家は、「宗円交遊庵やんたん」のオープンまで、長年にわたり指定管理者前身の「やんたん里づくり会」が大変なご苦労の中で、来訪者の対応、日々の管理を担っていただいている。しかし、公共施設でないことから、今回の指定管理業務の範囲に、宗円生家は含まれていない。

「宗円交遊庵やんたん」と宗円生家は、来訪者をおもてなしする上で、その連携は必要である。町から「1738やんたん里づくり会」に対して、宗円生家においても一体的なおもてなしをお願いしている経過もあり、宗円生家での来訪者のおもてなし等の活動について、指定管理業務の中で検討していく。

受援体制の構築と訓練の実施を

【答】職員を対象とする訓練を行う

【質問】

本町において、不幸なことに大きな災害により、甚大な被害が発生したと仮定すると、国、府、近隣自治体、災害時応援



災害時に駆けつけてくれる応援自治体職員

協定締結自治体、企業、ボランティア等が応援に駆けつけてくれる。

【質問】

その時に応援を受ける本町の受援体制が整っていないければ、災害復旧等が遅れることとなる。このようなことにならないように受援体制の構築を早期に行っていくか。

災害が起こった時に慌てふためかいたために、受援体制がうまく機能するように受援訓練を実施しては。

【答弁(総務部長)】

まずは職員を対象とする訓練を行うなど、今後、受援訓練の実施に向け検討していく。



管理の行き届いた宗円生家

本町での自然災害の想定は

【答】地形から土砂災害や河川氾濫も



松本 健治
議員

【質問】

今年台風・豪雨災害の連続で、甚大な被害が関東を中心に発生した。本町の洪水浸水想定区域図(ハザードマップ)について、京都府から公表された、田原川で見直しがされた。今回の台風の気象

【答弁(副町長)】

府が発表した洪水浸水想定区域図による想定雨量は時間当たり128mmである。この想定までの被害には至らないもの

【質問】

【答】支援のマッチング手法を調査研究

高齢者を地域で支え合う仕組みを

地域には独居や高齢者夫婦が多く、異常気象による災害が頻発する今日、高齢者の不安が多い。今以上に日頃から高齢者を地域で見守り助け合うことや、行政がサポートする仕組みづくりを構築していく必要があると思うが。

【答弁(介護医療課長)】

地域福祉を担う諸団体や区(自治会)等が、つながりを持って情報共有・連携するネットワークを構築することが大切である。それぞれの役割を担う中で、高齢者を見守り、地域貢献を地域の力として生かせるよう、支援のマッチング手法について、さらに調査研究する。



うじたわら安心のボトルは正確な緊急情報に

災害時の事業者との協定は

【答】現在23事業者と協定締結



山本 精
議員

【質問】

指定避難所になっている小中学校の体育館や、住民体育館、福祉避難所の非常用の食料や、毛布などの配備、防災ベッドや、プライバシー保護の衝立などの整備は。

【答弁(総務課長)】

指定避難所には、飲料水や非常食をはじめ、難燃毛布・発電機・灯油器具などを配備、プライバシー保護のパーテーションは16部屋分を備蓄、防災ベッドは2台配備している。

【質問】

町内の段ボール製作会社との提携、また町内の商店や、会社などとの災害時の利用協定は。

【答弁(総務課長)】

段ボール製作会社との提携は今後検討していく。町内の23民間事業者を相手方として協定を締結している。

【質問】

指定避難所である住民体育館や、小中学校の体育館に空調を整備した場合の費用は。

【答弁(総務課長)】

新たに設置するには5千万円以上必要となり、非常に高額となる。

【質問】

指定避難所になっている体育館等への空調設置には、環境省の「地域の防災・減災と低炭素化を同時実現する自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」と総務省の「防災・減災・国土強靱化対策事業債」の活用で、実質負担が8分の1で可能であり、このような制度の利用は。

【答弁(総務課長)】

環境省の推進事業を利用するには、低炭素化や太陽光発電、自家発電設備などが必要。また、低炭素化で削減できるCO₂と新たな空調設備が出すCO₂

安心ボトルのメンテナンス実施を

【答】早急に対応を検討する

【質問】

今から6年前に、1人暮らしの高齢者宅に配布された「救急医療情報キット」が、長年メンテナンスされずにいる。毎年の訪問活動と兼ねて実施されるべきでは。

【答弁(健康福祉部長)】

「うじたわら安心のボトル」は、地域住民の安心安全の確保を目的として、急病で駆けつけた救急隊員や近所の方に、持病やかかりつけの病院等を知らせるため、必要な情報が記載されており、早急に対応を検討する。



避難所となる体育館にエアコンを



免許証自主返納者に電動アシスト自転車購入補助を

の差が、マイナスになることが必要となるため、設置は厳しいと考えている。

【答】購入補助は想定していない

【質問】

運転免許証の自主返納者に対する支援策として、I-COCAカードの配布をしているが、より自由に動けるものとして、電動アシスト自転車や電動シニアカートなどの購入支援は。

【答弁(総務課長)】

運転免許証の自主返納者と安全運転支援の両面から、よりベターな支援策を検討している。電動アシスト自転車、電動シニアカートへの購入補助は想定していない。

くつわ池自然公園の今後の管理は

【答】民間企業への委託の方向で検討



谷口重和 議員

【質問】 目的広場の整備、ハートの展望台への散策路新設の駐車場、芝生広場の年度内完成、ハートの展望台へのルートの新設について進捗状況は。

【答弁(産業観光課長)】 増加する来場者への対応は、指定管理者である



年間1万人が利用するくつわ池自然公園

【質問】 郷之口生産森林組合の負担となっており、今後の管理運営が心配である。指定管理返上の申し出や、民間企業への業務委託についての協議検討は。

小規模特養の施設整備を

【答】次期計画の中で検討する

【質問】

小規模特養の施設整備について、平成28年度には建設工事着手予定とのことであったが、計画はとん挫した。喫緊の課題であり、早急に手を打つ必要があるが。

【答弁(介護医療課長)】 平成27年度から29年度

空き家に関する地域サポーターを

【答】きめ細やかな伴走支援が重要

【質問】

お試し住宅に入居された方が、本町内の空き家に移住をされることとなったが、次の移住もふまえ、あと1〜2軒のお試し住宅を検討しては。また空き家バンクへの登録物件を確保するために、空き家に関わる地域サポーターを募っては。

【答弁(企画財政課長)】



南地区のお試し住宅

小規模での実践的な防災訓練を

【答】総合訓練も自主防の訓練も重要



今西久美子 議員

【質問】 今年も台風や豪雨などの自然災害により、多くの地域で甚大な被害があった。避難に支援が必要な方にとって個別支援計画の作成は、命に係わる重要なことである。先進地の事例を研究し、「協議会」の立ち上げや計画作成のためのマニュアル作りなど、具体的に検討すべきでは。

【質問】 今後地球温暖化による台風の巨大化や豪雨、地震などの自然災害がいつどこで起きるかわからない。町のデモンストラシーショナルな総合防災訓練ではなく、全住民を対象とした小さな単位での実践的な訓練は。

西ノ山にドッグランの整備を

【答】検討したが整備は難しい

【質問】

西ノ山展望広場の整備には、すでに4千万円以上かかっているが、現時点では利用者が少ない。有効活用のためにも、住民要望のある「ドッグラン」を整備しては。

【答弁(建設事業部長)】 「ドッグラン」については



整備されたドッグラン(枚方市)

町内部で検討したが、費用面や管理体制面から整備は難しいと判断している。西ノ山展望広場の有

歴史的資料の収集を

【答】今後研究していく

【質問】

町史第1巻は昭和55年に、第2巻は昭和63年に発行された。第3巻の発行予定は。

【答弁(社会教育課長)】 人材と財源の確保が必要であり、現時点で発行の予定はない。

【質問】

役場の引越越しの際に貴重な資料や物品が処分されることがないよう慎重に管理を。また、一般住宅の古



町の歴史が刻まれた町史

次年度の予算編成と重点施策は

【答】希望と責任が持てるまちづくり

【質問】

令和2年度は種々課題を抱えながら、大型事業をはじめ第5次総合計画を着実に実施し、将来への基盤をつくる重要な年となる。予算編成の基本的な考え方、重点施策は。

【答弁(町長)】

山手線及び幹線道路整備、都市公園の整備等、将来に向けたまちづくりの根幹をなす大型事業に加え、人口減少対策、企業立地、移住・定住と結び合い、将来に希望と責任が持てるまちづくりを推進していく。

【質問】

大型事業の推進で厳しい財政状況に直面している。事務事業の見直しをはじめ財政改革推進が急務。具体的な施策は。

【答弁(町長)】

財政健全化に向け危機感を持った聖域なき行財政改革を推進。前例踏襲からの脱却、効率的・効果的な行財政基盤の構築、一般財源ベースで10%の削減を目標に取り組む。



垣内秋弘 議員

ふるさと住民票制度の導入を 【答】今後調査・研究を進める

【質問】

全国の少数の自治体で取り組まれている当該市町には居住はないが、ふるさと住民票を発行することで関わりのある人を顕在化し、公共サービスを提供する制度の導入は。

【答弁(副町長)】

多くの人に本町に関わりを持ってもらい移住定住や地域活性化に繋がればと思う。ふるさと住民票制度についても、調査・研究を進める中で、戦略的位置づけをめざしたい。



健康増進に役立つ健康遊具

公園に高齢者健康遊具の設置を 【答】中央公園に設置予定

【質問】

公園に子供用の遊具とセットで高齢者が利用できる健康遊具を設置し、公園の利用価値を高め健康増進に繋げては、また、新都市公園の遊歩道を利用する人が、気軽に健康遊具も活用できるように設置しては。

【答弁(建設環境課長)】

町内の多くの公園では、遊具の増設は難しいが、更新時には健康遊具の活用も検討したい。中央公園は、新庁舎と合わせ防災機能を兼ね備えた公園として、令和4年度に整備完了予定。合わせて健康遊具を設置する予定。

女性防災士の育成を

【答】養成できるよう働きかけていく

【質問】

災害大国日本において、令和元年も台風15号や19号の影響で関東を中心に甚大な被害をもたらした。現在、本町には22名の防災士が登録されている

【答弁(総務課長)】

が、今後の研修計画は。 京都市の事業である地域防災力向上講座を活用し、研修会や意見交換会など、地域でさらに活動できるように研修計画を検討していく。

【質問】

本町の防災士は22名全員男性であり、銘城台地区は空白のままである。いざ、災害が発生し避難所開設となると、女性の目線が大変重要になると思われる。女性防災士、銘城台地区防災士の育成は。

【答弁(総務部長)】

災害時、避難所における女性ならではのきめ細かい対応は大変重要であり、女性の力が必要であるという気運を醸成すること、女性や全地区に防災士を養成できるような、さらなる働きかけを行うっていく。



藤本英樹 議員

ように選定するのか。

【質問】

【答弁(社会教育課長)】 5月はお茶の摘茶最盛期であり、新庁舎も完成している。新庁舎周辺で応援イベントを同時開催しては。

【答弁(教育部長)】

発着点の公表がされていないが、ある程度の広さが確保できるのであれば、応援イベントは開催可能であり、小学校や各種団体に働きかけてみる。



令和元年度総合防災訓練の様子

聖火リレーで応援イベントを 【答】詳細決まれば検討に入る

【質問】

ラグビーワールドカップでの日本代表の活躍で、スポーツの素晴らしさを実感したところであるが、2020年には東京オリンピック・パラリンピックが開催される。開会に先立ち、5月27日に聖火リレーが本町でも実施されるが、町内の聖火リレールートはどの



東京オリンピック・パラリンピックエンブレム (https://tokyo2020.org)

た な か りょう た 田中涼太さん



新成人を迎えられた皆さんを代表して、成人のつどい実行委員会委員長の田中涼太さんにインタビューしました。

Q. 成人式を迎えての感想は

A. 無事にこの日を迎えられたのは、たくさんの方の支えがあったのなことだと思います。お世話になった方々に感謝の気持ちを伝えたいです。

Q. 趣味は

A. バレーボールです。体を動かすので、日々の疲れを発散させることができます。

Q. 夢または将来挑戦したいことは

A. 大学でしっかりと知識を身につけて、社会の役に立つモノを作れるようになりたいと考えています。

Q. 宇治田原町に望むことは

A. 豊かな自然に囲まれた町で、町民全員が気持ちよく、安心して暮らせる町であり続けてほしいです。

Q. 今の政治に望むことは

A. SNS等を通して、若者を政治に巻き込んでいってほしいです。そのためには、私たち自身も選挙に行く等して、能動的に動かなければならないと考えています。



証明書等の申請窓口

役場支所を設置するのは 【答】激変緩和措置として確保したい



馬場 哉
議員

【質問】
今でも役場から遠いところ近いところがある。不便さを解消する策として、コンビニエンスストアでの証明書等の交付事業は、コストがあまりにも高額なため実施を見

送ったことは理解する。住民満足度向上につながる行政サービス実施をめざすなら、総合文化センターでの証明書等の交付ができないか。
【答弁(総務部長)】
総合文化センターでの証明書等交付業務については、職員体制など様々な課題がある。役場庁舎の移転に伴う窓口設置については、あくまで現庁舎近隣住民の方々に対する激変緩和措置として考えている。

【質問】
役場が遠くなりサービスの低下や不便になるとの声は、当面の間、支所

を設置して解消するか。他の地域からも、支所を設置して欲しいと要望があればどうするか。
【答弁(総務部長)】
様々なことを考慮する中、可能な範囲で窓口的な機能の設置を、現在の保健センターを活用し、あくまで激変緩和措置として考えている。

多文化共生への住民意識醸成は 【答】後期基本計画に掲げる

【質問】
国は今後進行する生産者人口減への対策として、外国人労働力の受け

入れを推進している。本町でも、道路整備後の企業進出により、従事する外国人の増加は想定される。
【答弁(企画財政課長)】
まちづくり基本計画の後期改定素案において「多文化共生を尊重する」視点と、まちづくり戦略にも、そのための取り組みを掲げることとしている。



まち・ひと・しごと創生総合戦略

インタビュー

一般質問

高齢者にやさしいまちづくり

「住民と議会の懇談会」開催

令和2年も早や2月。年々、時は思いより早く過ぎていくように感じます。

今年はおリンピック・パラリンピックが、56年ぶりに東京開催となります。思えば前回の東京大会では、中学校の修学旅行で、ワクワクドキドキしながら水泳を間近に観戦した記憶があります。ちょうど日本は高度成長期に入り、その後大きく社会が変わりました。今日も色々な意味で、時代の転換点ではないかと思えます。オリンピックを機に、より世界平和や地球環境にも目を向ける社会（世界）になってほしいものです。

議会及び議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください。

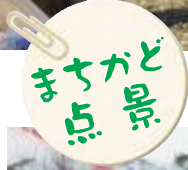
広報編集委員 松本



勢いよく燃え上がる荒木とんどまつり



大絵馬に願いを込めて（大宮神社）



出初式 一斉放水

次回議会の予定
〈3月定例会〉
3月2日 開会日
詳しい予定はHPにてお知らせします。

今年度も町議会では、「住民と議会の懇談会」を開催します。今回のテーマは「高齢者にやさしいまちづくり」と題して、住民の皆さんと懇談をさせていただきます。すでに団体への参加要請や一般公募も行いました。当日は議会からの報告と、高齢者の皆さんが「より安心して暮らせる宇治田原町」をめざして、意見交換を行う予定です。



昨年の「住民と議会の懇談会」の様子

- ◆日時 令和2年2月9日（日）午後2時から4時まで
 - ◆場所 総合文化センター研修室1
 - ◆参加対象者 団体や一般公募
 - ◆内容 報告「高齢者のための施策」
 - ◆第1部 懇談会・ワークショップ
 - ◆第2部
- テーマ 高齢者にやさしいまちづくり
(ワールドカフェ方式)